

日本測地学会第96回講演会プログラム

期日:平成13年10月15日(月) ~ 10月17日(水)

会場:[札幌ガーデンパレス](#) 2階丹頂の間

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西6丁目
電話 011-261-5311

10月15日(月)

9:20~11:00 I. 「理論測地・海洋測地」

座長:藤本博巳(東北大院理)
孫 文科(東大地震研)

1. 人工衛星の運動における一般相対論的效果 (12分)
国立天文台 福島登志夫
2. 地形補正を評価するためのポテンシャルの一般式 (12分)
東大地震研 孫 文科
3. 球対称地球モデルにおけるポストサイズミックな
変動 - 有限の大きさを持つ断層の場合 - (10分)
東大地震研 田中愛幸、大久保修平
4. Non-informative models for directions,
planes and coordinate systems (12分)
京大防災研 徐 培亮
5. 三陸沖日本海溝におけるサイズミック・カップリ
ングの観測を目指した精密海底測位システムの設
置 (12分)
東北大院理 藤本博巳、三浦 哲
東大地震研 長田幸仁、塩原 肇、金沢敏彦

東大海洋研 渡辺正晴
スクリップス海洋研 Aaron Sweeny、John Hildebrand
David Chadwell

6. 海底地殻変動観測のシミュレーション(その1)
- どのような観測を行うべきか - (12分)

水路部 仙石 新

7. 海底圧力観測と TOPEX/POSEIDON 海面高度計の観測データとの比較による海洋変動と圧力変動の関係 (12分)

東北大院理 玉木崇之、藤本博巳
国立天文台 松本晃治、佐藤忠弘

8. Centimeter-level positioning of seafloor acoustic transponders from a deeply-towed interrogator (12分)

UCSD A.Sweeny、C.D.Chadwell
J.A.Hildebrand and F.N.Spiess

11:00 ~ 11:10 休憩

11:10 ~ 12:30 . 「GPS(1)」

座長：小澤 拓(国立極地研)
岩淵哲也(気象研)

9. 海面高変動・積雪荷重と地震発生の季節性 (12分)
国立天文台 日置幸介

10. GEONET データに見られる基線長の年周的变化について(続報) ~ 最大伸張位相の違いについて ~ (12分)

京大院理 瀧口博士、福田洋一

11. 西南日本におけるGPS年周変化の特徴とその要因(12分)

- 名大院理 林 宏和、平原和朗
- 12 . GPS 衛星の予測暦の作成 (12 分)
電子航法研 新井直樹、星野尾一明
東京商船大 安田明生
- 13 . GPS 座標時系列に見られる共通誤差成分
- 空間フィルター法の適用 - (12 分)
高知大理 田部井隆雄
インドネシア測量局 アミン・ウィダダ・レスタリヤ
- 14 . GPS 観測から予測される西・東南極のデカップリング(12分)
国立極地研 小澤 拓、野木義史、澁谷和雄

12:30 ~ 13:30 宇宙技術測地利用小委員会
(4 階真珠の間)

13:20 ~ 17:00 . 「 G P S (2) 」

座長 : 小澤 拓 (国立極地研)
岩淵哲也 (気象研)

- 15 . RESULTS OF GPS OBSERVATION ACROSS THE KENYA
RIFT VALLEY (12分)
北大理 Waithaka Hunja、笠原 稔
K I S M Muya Kamamia
国土地理院 田中和之、宮崎清博
- 16 . GPS 東海地域 3 時間解析値のグループ化と補正
(12 分)
気象研 小林昭夫、山本剛靖
国土地理院 畑中雄樹、丸山一司
気象庁 竹中 潤、緒方 誠
- 17 . マイナー分潮の海洋潮汐荷重による GPS 観測点の
変位 (12 分)
国立天文台 松本晃治
- 18 . 移動性地殻変動の検出の試み (12 分)

京大防災研 伊藤武男、橋本 学

19. GPS 相関処理に基づく日本列島の上下変動 (12 分)

東大地震研 金 紅林、加藤照之、宮崎真一

20. つくば 2000 稠密観測の解析 (その 1) (12 分)

防災科研 島田誠一

21. GPS つくば稠密観測 2000 : Bernese ZD 法で得られる視線遅延残差の特性 (12 分)

科学技術振興事業団 / 気象研 岩淵哲也

22. GIPSY ソフトウェア LC 位相残差スタッキングによる GEONET 視線遅延の系統誤差の評価 (12 分)

科学技術振興事業団 / 気象研 岩淵哲也

東大地震研 宮崎真一

国立天文台 内藤勲夫

23. GEONET の GPS データから求めた可降水量とラジオゾンデデータとの比較 (12 分)

静岡大理 西村昌明、里村幹夫

科学技術振興事業団 (気象研) 岩淵哲也

国立天文台 内藤勲夫

24. 水蒸気ラジオメータによって観測された宇治市における水蒸気分布の異方性

- Retrieval coefficients に関する問題 -

(12 分)

名城大理工 田中寅夫

京大防災研 細 善信、原田昌武、林 泰一

エジプト NRIAG モウサ アシュラフ

15:25 ~ 15:35 休 憩

25. 海底地殻変動観測システム - kinematic GPS 解析による船位測定の精度評価 (2) - (12 分)

東北大院理 三浦 哲、藤本博巳、村上栄寿
東大地震研 長田幸仁
UCSD C.D.Chadwell

26. 長基線 GPS 計測の一側面 (12 分)

数理解析研 一色 浩

27. 新解析戦略による GEONET データの再解析 (12 分)

国土地理院 畑中雄樹、飯塚豊久、沢田正典
山際敦史、菊田有希枝

28. 新解析結果による GEONET の大気遅延推定値の評価 (12 分)

国土地理院 畑中雄樹

29. 長距離キネマティック GPS 測位 - 基線連結法の改良と SA-off のインパクト - (12 分)

高知大理 近添裕司、田部井隆雄
航技研 辻井利昭

30. 仮想基準点方式による GPS 測位の精度評価 (12 分)

東大地震研 榎本太郎、加藤照之

31. 仮想基準点方式による RTK-GPS の実用化に向けて (12 分)

国土地理院 呉 新華、松村正一、畑中雄樹
都筑三千夫

17:00 ~ 18:00 地殻変動・海水準小委員会
(4 階真珠の間)

18:00 ~ 19:00 ETS 組織委員会 (4 階真珠の間)

10月16日(火)

9:00 ~ 12:35 . 「測地・地殻変動(1)」

座長：今給黎哲郎（国土地理院）

中尾 茂（東大地震研）

32．フラッシュ観測における LAGEOS - 2 スピン運動の推定（12分）

通総研 大坪俊通

NERC Robert A.Sherwood、Philip Gibbs

David G.Walters、Roger Wood

33．緩い束縛条件による SLR 地球基準座標系の構築と

ITRF2000 への寄与 その2（12分）

通総研 大坪俊通、後藤忠弘

34．国土地理院における VLBI と GPS のコロケーションについて（12分）

国土地理院 松坂 茂、畑中雄樹、根本恵造

森田和幸、石本正芳、若山 浩

福崎順洋、秋山忠之、小野垣亮子

小林京子、宮川康平

35．日本測地系から世界測地系への移行（12分）

国土地理院 今給黎哲郎、松村正一、高野良仁

飛田幹男、野田沢雪夫、中堀義郎

小牧和雄

水路部 谷 伸、仙石 新

36．全国水準点成果の改訂について（12分）

国土地理院 今給黎哲郎、高野良仁、前田修身

箱岩英一、根本恵造、齋藤 正

黒石裕樹、國見利夫、大滝 修

大滝三夫

37．日本のデジタル楕円体高データ（DEHM）の作成
（12分）

国土地理院 飛田幹男

38．伊豆諸島における GPS 観測結果（12分）

水路部 河合晃司、佐藤まりこ、矢吹哲一郎

小山 薫、笹原 昇、深野慶太
江河有聡、仙石 新

39. 伊豆半島周辺の地殻変動 (10分)

国土地理院 海津 優

40. 2000年夏の伊豆諸島イベント以降のKSP地殻変動
観測結果について (12分)

通総研 吉野泰造、雨谷 純、木内 等
近藤哲朗、市川隆一、小山泰弘
高橋富士信

41. 2000年三宅島マグマ貫入モデル

- GPS総合解析データをもとにして - (12分)

東大地震研 中尾 茂

11:00~11:10 休憩

42. 油壺地殻変動観測所における歪・傾斜観測
(12分)

東大地震研 中尾 茂

43. 小孔径地殻活動複合観測装置の開発とその記録の
特徴について (12分)

東濃地震研 浅井康広、石井 紘、青木治三
名大院理 山内常生
東大地震研 松本滋夫

44. 坂田式三成分ひずみ計による長期連続観測結果
(12分)

防災科研 坂田正治

45. ポアホールによる歪観測について
- 間隙水圧の重要性 - (12分)

京大院理 藤森邦夫
奈良産大法 向井厚志

46. 屯鶴峯観測所で観測される湧水量の変化について
(12分)

京大防災研 尾上謙介

47. 炭坑操業による地盤沈下観測への干渉SAR技術
の応用(オーストラリア, NSW州, Tower 炭坑)
(12分)

高知女子大 大村 誠
ニューサウスウェールズ大 葛 林林、Chris Rizos
九州東海大 小林茂樹

48. 室戸半島横断水準測量とその意義 (12分)

高知女子大 大村 誠
広島大院 前杵英明

12:35 ~ 14:00 日本測地学会評議会(4階真珠の間)

13:30 ~ 17:00 . 「地殻変動(2)」

座長: 橋本 学(京大防災研)
矢来博司(国土地理院)

49. 断層模型による地表上下変動のパラドックス
(1)低角逆断層 (12分)

防災科研 岡田義光

50. 西南日本におけるフィリピン海プレートの斜め沈
み込みと中央構造線のすべり様式(12分)

高知大理 田部井隆雄
(株)プラネット 高谷卓司

51. フィリピン-インドネシア東部におけるGPS速度場
とプレートの沈み込み様式 (12分)

高知大理 大庭健太郎、田部井隆雄

名大院理 木股文昭
京大院理 大倉敬宏
バンドン工科大 Hasanuddin, Z. A.
フィリピン火山地震研 G. M. Besana

52. 福島県沖の地震(2001/2/25, M5.8)に伴って観測された Mw6.6 相当の非地震性すべり (12分)

東北大院理 諏訪謡子、三浦 哲、長谷川昭
佐藤俊也、立花憲司

53. 上下変動と辺長変化から推定する 1987 年東海スロースリップ (12分)

名大院理 木股文昭、藤井直之
名大院環境 平原和朗

54. 東海地域のスローイベントに対する一解釈 (12分)

国土地理院 鷺谷 威

55. 島原半島の地殻変動とその地学的意義 (12分)

国土地理院 鷺谷 威、多田 堯、西村卓也
矢来博司、土井弘充

56. GPS 稠密観測で得られた 2000 年鳥取県西部地震の余効変動のモデル (12分)

京大防災研 橋本 学、伊藤武男、細 善信
高知大理 田部井隆雄、大庭健太郎

15:15 ~ 15:25 休 憩

57. ベイズモデルによる継続時間の長い地殻変動の分離・抽出：1998 ~ 1999 年の岩手山のマグマ貫入プロセスの解明 (12分)

東北大院理 佐藤峰司、浜口博之

58. JERS-1 の干渉 SAR で見た九重火山 - 噴火前後の

地殻変動の推移 - (12分)

国土地理院 矢来博司、飛田幹男、村上 亮
中川弘之
文部科学省 藤原 智

59. 2000年噴火後の有珠山山体の地殻変動

- 収縮は貫入マグマの脱ガスによるものか? -
(12分)

国土地理院 村上 亮、矢来博司

60. Monitoring the Deformation of Papandayan,
Kelut and Batur Volcanoes, Indonesia, Using
Static GPS Survey (12分)

I T B D.Darmawan、H.Z.Abidin

M.A.Kusuma

名大院理 木股文昭、I.Meilano

V S I M.Hendrasto、O.K.Suganda

61. 2001年6-8月の箱根火山の地殻変動(12分)

国土地理院 西村卓也、村上 亮
神奈川県温泉地学研 棚田俊收

62. 海底地殻変動の高精度計測法(12分)

数理解析研 一色 浩

63. 日本海溝におけるGPS/音響測位(その2)

(10分)

東大地震研 長田幸仁、塩原 肇、金澤敏彦

東北大院理 藤本博巳、三浦 哲

UCSD A.Sweeny、C.D.Chadwell

J.A.Hildbrand

17:00~17:50 国際会議報告

司会：瀬川爾朗(東海大海洋)

1 . 近世地殻変動国際シンポジウム(ヘルシンキ)
(15分)

田中 寅夫(名城大理工)

2 . IAG 学術総会(ブダペスト)(35分)

- 1) 全般 竹本修三(京大院理)
- 2) Session A1-A4 高橋富士信(通総研)
- 3) Session A5,B 黒石裕樹(国土地理院)
- 4) Session C 古屋正人(東大地震研)
- 5) Session D 日置幸介(国立天文台)
木股文昭(名大院理)

18:00~20:00 懇親会(2階孔雀の間)

10月17日(水)

9:00~12:30 「南極測地・地球潮汐
計測技術・惑星測地」

座長: 福崎順洋(国土地理院)
市川隆一(通総研)

64 . リュツォ・ホルム湾内でのGPSを用いた海面高
測定(12分)

国立極地研 土井浩一郎
水路部 瀬尾徳常

65 . 衛星高度計データに基づく南極-インド亜大陸分
裂過程の痕跡の検出(12分)

京大院理 寺田久美子、福田洋一
国立極地研 野木義史

66 . JARE39における南極VLBI実験の測地解析とその結
果(12分)

総研大 寺家孝明
国立天文台 真鍋盛二、田村良明
国立極地研 澁谷和雄

67. S2 K4 ダビングによる昭和 VLBI 実験の処理
(12分)

国土地理院	福崎順洋
国立極地研	澁谷和雄、土井浩一郎
総研大	寺家孝明

68. 六甲高雄で観測されたひずみ変化における液体核
共鳴の効果 (12分)

奈良産大法	向井厚志
京大院理	竹本修三
気象研	山本剛靖

69. 江刺における FG5 絶対重力計と並行観測による超
伝導重力計の感度検定 (12分)

国立天文台	田村良明、佐藤忠弘
京大院理	福田洋一、東 敏博

70. 長大トンネル内の気圧変化に伴う気温変化 (12分)

京大防災研	森井 互
-------	------

71. 絶対重力計用オフセットロック He-Ne レーザの開発 (12分)

国立天文台	坪川恒也
計量研	石川 純
ネオアーク(株)	波多野智

72. 絶対重力測定用レーザ干渉計システムの開発
(12分)

国立天文台	坪川恒也
(株)アカシ	鹿熊英昭

11:00 ~ 11:10 休 憩

73. 測地 VLBI データベースの標準化 (12分)

国土地理院	高島和宏
-------	------

- 74 . KSP 観測で認められた短期基線長変化 (12 分)
通総研 市川隆一、雨谷 純、木内 等
関戸 衛、小山泰弘、近藤哲朗
吉野泰造、高橋富士信
- 75 . KSP 連続観測における大気勾配の評価 その2
(12 分)
通総研 市川隆一、小山泰弘、大久保寛
大崎裕生、関戸 衛、近藤哲朗
木内 等、雨谷 純、吉野泰造
- 76 . 静止トランスファ軌道衛星 (LRE) へのレーザ測距
について (12 分)
通総研 國森裕生、雨谷 純、木内 等
勝尾双葉、吉野泰造、大坪俊通
宇宙開発事業団 沢辺幹夫、内村孝志、前田真紀
- 77 . 精密暦による観測点位置の検証 (12 分)
エア・スペース・ジャパン 川俣健一
- 78 . Lunar Prospector/LOS データによる月重力場詳
細マッピング (12 分)
総研大 菅野貴之
国立天文台 日置幸介
- 12:30 ~ 13:30 重力・ジオイド小委員会
(4 階真珠の間)
- 13:30 ~ 16:40 . 「重力」
- 座長：福田洋一 (京大院理)
古屋正人 (東大地震研)
- 79 . 南極・昭和基地における絶対重力測定 (12 分)
国土地理院 木村 勲
国立極地研 土井浩一郎

京大 岩野祥子

80. 室戸岬における絶対重力測定 (12分)

京大院理 東 敏博、福田洋一
小笠原志歩里、竹本修三

81. 絶対重力計 FG5 の相互比較 (12分)

国土地理院 平岡喜文、木村 勲
東大地震研 大久保修平、古屋正人
京大院理 東 敏博、福田洋一

82. Gravity inversion modeling across faults
-A Case Study in the Japan Alps (12分)

京大院理 Ateya I.L., 奥田 哲
竹本修三

83. ヘリコプター重力測定の今後の計画およびいくつかの問題点について (12分)

東海大海洋 瀬川爾朗、楠本成寿
イー・ジョン・ジョセフ
朝日航洋(株) 長谷川博、中山英二

84. 正規楕円体上のブーゲー異常およびジオイド高の
計算方法に関する一考察 (12分)

応用地質(株) 野崎京三、岩本鋼司

85. 名大重力データベースの構築と運用 (12分)

中部大 志知龍一
北大 山本明彦

15:00 ~ 15:10 休 憩

86. Determination of Indonesian Gravity fields
from combination of satellite altimeter,
surface gravity and digital terrain model
data (12分)

京大院理 Leni Sophia Heliani、福田洋一
竹本修三

87. 軌道に沿った衛星重力データの利用可能性 (12分)

京大院理 福田洋一

88. バンドン及び京都における超伝導重力計観測に及ぼす地下水変動の影響 (12分)

京大院理 阿部麻衣子、竹本修三、福田洋一
東 敏博

89. Scintrex CG-3M 重力計の高精度化
- s228 のヒステリシスとドリフトの関係 -
(12分)

静岡大理 本田大介、里村幹夫
九州東海大工 小林茂樹
名大地震観測セ 宮島力雄、奥田 隆

90. 重力インバージョンで求めた三宅島火山の火道内
マグマ昇降 (12分)

東大地震研 大久保修平、古屋正人
孫 文科、渡辺秀文

91. 2001年三宅島火山における絶対重力連続モニター
(12分)

東大地震研 古屋正人、大久保修平、孫 文科
山中佳子、及川 純、渡辺秀文

92. 北海道の活動的火山における精密重力測定

有珠山および樽前山 (12分)
北大理 大島弘光、鬼沢真也、前川徳光

「ポスターセッション」

10月15日(月) 13:00 ~ 10月17日(水) 15:30

P-1 . 日本列島稠密重力データベースによる高分解能
重力異常とその可視化

中部大 志知龍一
北大 山本明彦
産総研 名和一成、村田泰章、駒澤正夫

P-2 . インターネットプロトコルによる実時間 VLBI の
開発 (その 3)

通総研 近藤哲朗、小山泰弘、関戸 衛
中島潤一、大久保寛、大崎裕生
木村守孝
日本通信機(株) 市川雄一

P-3 . 数値モデル出力を用いた測位誤差の考察

気象研 瀬古 弘、中村 一
防災科研 島田誠一

P-4 . 鹿嶋 北斗 V L B I 実験計画

通総研 市川隆一、中島潤一、関戸 衛
川合栄治、大久保寛、大崎裕生
木村守孝、近藤哲朗
北大院理 渡部重十
国立天文台 徂徠和夫

P-5 . 水蒸気ラジオメータによる岐阜大学上空の水蒸
気分布の異方性

岐阜大工 高羽 浩、吉田 稔、若松謙一
名大院理 木股文昭
通総研 市川隆一
国土地理院 福崎順洋